

2025年度

米国議会フェロー募集

SPF-APSA 米国連邦議会フェローシップ

派遣期間 ▶ 2025年9月～2026年8月

募集人数 ▶ 合計2名

- ① 研究者カテゴリー: 1名
- ② 実務家カテゴリー: 1名

待遇 ▶ 往復航空券(1往復のみ)
フェロー期間中の生活費・保険費
※米国滞在ビザ(J-1ビザ)取得にかかる費用は
フェロー本人の負担となります。

活動内容

ジョンズ・ホプキンス大学高等国際関係大学院(SAIS)
開講の事前研修への参加(9月～10月)

全米政治学会(APSA)主催の
事前研修への参加(11月)

連邦議会議員事務所または
連邦議会委員会での勤務(1月～8月)
フェロー自身が議員事務所や委員会に応募し、
採用を獲得する必要があります。

米国ジャーマン・マーシャル基金(GMFUS)
レジデントフェローとしての活動
派遣中はAPSA議会フェローの身分のほか、
GMFUSインド太平洋プログラム・レジデントフェローを
兼任し、同プログラム事業にも一部参画・協力を行います。
GMFUSはビザスポンサー団体としてJ-1ビザ取得を支援します。

議員選挙区への出張、
カナダ議会との交流プログラム等への参加機会

協力団体

全米政治学会(APSA)
米国ジャーマン・マーシャル基金(GMFUS)

▼ 募集締切 ▼

2024年12月2日(月)17時00分

新しい時代の日米関係の発展に

貢献したいという熱い思いと強い意志を持つ

人材を求めています

米国連邦議会における研修機会を提供することを通して、
米国議会・政治に精通し、日米の政治に関わる専門性を
生かして活躍する人材を育成し、日米の政策コミュニティの
長期的な信頼と協力関係の維持に貢献することを目的としています。

募集説明会を開催します



開催日・形式等については、
右記QRコードからご確認ください。

フェローシップの詳細や
説明会の情報はこちらから

✉ 問い合わせ先

公益財団法人 菅川平和財団 日米グループ(担当:村田、田澤)
Email: apsa-fellowship@spf.or.jp

応募資格要件

- ① 日本国籍または日本の永住権を有していること。
- ② 研修・業務を遂行するのに十分な英語力を有すること。
- ③ 米国連邦議会の立法過程、米国の議会関係者との交流や長期的な関係構築に高い関心を有すること。
- ④ 多様な背景を持つ同僚や自分より若年の上司と喜んで働くことのできる柔軟で開放的な性格を有すること。
- ⑤ [研究者カテゴリー]
博士号取得後15年以内であること。
- ⑥ [実務家カテゴリー]
10年前後(修士号保持者の場合7年前後)の政治関連の実務経験を有すること。
※「政治関連の実務経験」は特定の業種に限定されません。

応募方法・提出書類

提出書類一式をメールに添付し送付してください。

- ① 履歴書(日本語)
- ② CV(英語)
- ③ 志望動機書(英語750語程度)
- ④ [研究者カテゴリー]
単著論文のライティングサンプル(英語、なければ日本語)
- ⑤ [実務家カテゴリー]
詳細な職務経歴書(日本語)
- ⑥ 推薦者2名の氏名、役職および連絡先
※推薦状(日本語または英語)は各推薦者から直接提出していただきます。

選考スケジュール(予定)

STEP 1
書類審査 (2024年12月)

STEP 2
面接審査 (2024年12月~2025年1月)

STEP 3
派遣フェロー決定 (2025年1月)



APSA米国連邦議会フェローシップとは

研究者・実務家の米国連邦議会への理解促進を目的として、1953年に全米政治学会(APSA)が開始したプログラム。博士号取得者向けプログラムを中核に、現在2,200人以上のアラムナイを有します。フェローは、約1年間ワシントンDCに滞在し、研修を経て、連邦議会議員事務所や連邦議会委員会にて業務経験を積みます。米国人が主対象ですが、外国人フェローの受け入れも行われています。この度「SPF-APSA米国連邦議会フェローシップ」から派遣するフェローは、APSA議会フェローシップに設けられる「Sasakawa Peace Foundation (SPF)フェロー」として活動いただきます。



個人情報の取り扱いについて

当財団は、応募者の個人情報を法令及び当財団プライバシーポリシーに従い、適切に取り扱います。提出いただいた個人情報は、選考に関する事務処理、その他選考等に関連・付随する業務以外の目的には使用いたしません。なお、提出いただいた個人情報を協力団体に提供することがありますので、予めご了承ください。